

令和元年度第 1 回奈良市文化財保護審議会会議録			
開催日時	令和元年 7 月 1 1 日 (木) 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 3 0 分まで		
開催場所	奈良市役所 北棟 6 階 第 2 1 会議室		
出席者	委員	磯辺委員、小野由紀子委員、島田委員、鈴木委員、田辺委員、谷山委員、中島委員【計 7 人出席】 (綾村委員、井原委員、小野健吉委員、浦西委員、関根委員、和田委員は欠席)	
	事務局	立石教育部次長 (文化財課) 松浦課長、岩坂主幹、池田係長、山口係長、 (埋蔵文化財調査センター) 三好所長、鐘方所長補佐	
開催形態	公開 (傍聴人 0 人)	担当課	教育部 文化財課
議題 又は 案件	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 3 0 年度事業報告について 2 令和元年度事業計画について 3 富雄丸山古墳の発掘調査及び活用事業の概要 4 奈良市立一条高校講堂建設事業に伴う発掘調査成果 (平城京跡第 733 次調査) 		
決定又は 取り纏め 事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 報告事項 4 件について了承 2 会議録署名委員は、磯辺委員と小野由紀子委員 		

議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

1 平成30年度実施報告について

事務局より文化財課事業及び埋蔵文化財調査センター事業を説明。

2 令和元年度事業計画について

事務局より文化財課事業及び埋蔵文化財調査センター事業を説明。

委員

文化財課の普及啓発事業で、昨年台風のために中止になった「古仏に親しむ」という事業は、あらためて行う予定はありますか。17名も参加者がいたのに、中止のままなのか。

事務局

まだ具体的な計画はできていませんが、今年度も行う方向で検討中です。昨年と同様の内容になるのか、すこし違う形にするのか、まだ担当のほうで検討しています。

委員

資料の普及啓発事業の(6)が未定になっている、そこに入るわけですか。

事務局

はい。そのつもりです。

委員

埋蔵文化財センターの市民考古学講座ですが、毎年募集定員より5名程度オーバーしているようなのですが、その程度なら参加者を増やすということではできないのでしょうか。

事務局

この講座では実習があり、受講者一人ずつを十分に指導できる体制でやりたいと考えています。また会場の埋蔵文化財調査センターの講座室は25名が一番適切な収容人数です。そういうことも踏まえて、一人の講師が受講者を十分にカバーできる人数が25名と考えています。

委員

25名が適切な会場の広さということですが、5名程度増やすだけなら、極端に狭いということにはならないのではないですか。そのぐらいであれば、この際全員が参加してもらおうほうが良いと思います。来年度以降、検討してもらいたいと思います。

委員

2点質問があります。1点目は埋蔵文化財の収蔵場所の旧水間小学校ですが、埋蔵文化財の収蔵施設としてセキュリティー対策などはできているのでしょうか。2点目は史料保存館ですが、展示や講座について詳しい説明がありましたが、史料の保存の部分はどうなっていますか。史料の寄贈や寄託の申し出があった場合に、対応していける体制になっているのでしょうか。また保存のスペースは確保されているのでしょうか。

事務局

旧水間小学校は、校舎が埋蔵文化財等の施設になっており、セキュリティー設備が設置されている教室に遺物などを保管しています。今後、収蔵品が増えれば、セキュリティーが未設置の教室などに対策を施して、収蔵場所を増やしていくことになると思います。

史料保存館では、毎年数件ずつ史料の寄託や寄贈の要望があります。今のところ1件が80点から100点ぐらいの規模の要望であり、それには対応できています。ただ大量の史料の受け入れ要望が出てきた場合は、現在の収蔵場所で容量不足となる事態が生じると思われるので、そこは課題です。

委員

奈良県立図書情報館も収蔵史料が一杯で、新たな史料の受け入れが難しくなっているようです。史料保存館の状況を確認しましたが、本来は市内の史料調査を少しずつ進めながら、個々の所有者で保存できないという状況が出てくれば、保存は史料保存館で受け入れていくという体制を作るべきだと思います。それが史料活用の一方で必要なことなので、是非、検討してもらいたいと思います。

3 富雄丸山古墳の発掘調査及び活用事業の概要

事務局から調査及び事業について説明。質疑なし。

4 奈良市立一条高校講堂建設事業に伴う発掘調査成果（平城京跡第733次調査）

事務局から調査について説明。質疑なし。

終了